

繁華街の中で 人々に潤いと癒しを与えてくれる

水の街盛岡で
今も飲料水として利用される「三清水」。
その中の一つが大通の一角にあります。



「大慈清水」「青龍水」と並び「三清水」と呼ばれる「御田屋清水」。菜園に建てられた藩主の別荘「御田屋」に湧く清水清泉で、藩政時代には城内の飲料水やお茶道具の水として用いられた名水です。

昭和のはじめにこの地区を開発する際、風雅な「御田屋清水」の景観を守ろうと、市当局と開発会社が検討を重ね、「近代的都市計画の中にゆかしい旧蹟のおもかげを残す」という基本構想で整備されました。

設計者は画家として有名な橋本八百二です。

宮沢賢治も散歩の途中でこの清水を飲んだといわれています。

存在は知っていても、通り過ぎることが多いかもしれません。

暑い夏、自然の涼を求めて、ちょっと立ち寄ってみませんか。